

二	口	心	手	土	手	日	門
常用漢字(二九八)	哀 <small>あわれ</small>	愛 <small>あい</small>	惡 <small>わるい</small>	握 <small>にぎる</small>	握 <small>にぎる</small>	暗 <small>くら</small>	闇 <small>くら</small>
甲骨文	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
金文	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
説文解字	哀	愛	惡	握	握	暗	闇
隷書元前219頃を100に著す	哀	愛	惡	握	握	暗	闇
隷書肉筆前206～68	哀	愛	惡	握	握	暗	闇
隷書石碑148～186	哀	愛	惡	握	握	暗	闇
草書317～主に王羲之	哀	愛	惡	握	握	暗	闇
行書317～主に王羲之	哀	愛	惡	握	握	暗	闇
北魏楷書386～534	哀	愛	惡	握	握	暗	闇
楷書唐628～665	哀	愛	惡	握	握	暗	闇
説文の字体700頃～837	哀	愛	惡	握	握	暗	闇
正字唐	哀	愛	惡	握	握	暗	闇
上代日本	哀	愛	惡	握	握	暗	闇
平安初期を含む	哀	愛	惡	握	握	暗	闇
10世紀～12世紀和様の完成	哀	愛	惡	握	握	暗	闇
1603～1868庶民の文字	哀	愛	惡	握	握	暗	闇
江戸	哀	愛	惡	握	握	暗	闇
康熙字典	哀	愛	惡	握	握	暗	闇
文部省活字	哀	愛	惡	握	握	暗	闇
常用漢字	哀	愛	惡	握	握	暗	闇
中国常用	哀	愛	惡	握	握	暗	闇

【亜(亞)】隷書には中央に横線がある。篆書にはない。隷書で突然横線が出現するのは不自然だから、始皇帝の文字統一よりも古い字に起源があるのではないかとおもって探し出したのが金文の字体。文字統一以前には横線のある字体とない字体があつたんだ。ところでこの横線はなんなんだろう。白川静によれば、「亜」は地下の墓室の形で、四隅がないのはそこに悪霊が潜むと考えられていたからだという。とすればこの横線は棺だろうか。

現在の日本で書かれている字体は、行書で書かれてきた字体で、遅くとも宋時代から使われている。【哀】北魏楷書と楷書では「口」の最終画が左に突き出ている。正字の例は見あたらない。最終画は払っても止めてもどちらでも良い。日本上代は一画多いめずらしい字体。【愛】楷書では「心」の最終画と「夕」を繋げて書く。上代の字体を見ると、日本に伝わったのは正字らしい。草書はどうしてこんな字体になるんだろうか。江戸の崩し方を見るとわかつたような気がする。

白川静によれば、「愛」は振り向く人の形に「心」を加えた会意字、だという。「後ろ髪引かれるような」というが、そのような心情を字にしたものだろうか。

中国常用では下部が「友」だ。【惡(惡)】隷書では「亜」と同様に横線がある。睡虎地秦

簡に横線のある字体を発見。居延漢簡にはくさかんむりがついたようなめずらしい字体がある。「惡」は正字と「西+心」の字体が両方書かれてきた。戦前の陸軍幼年学校の用事便覧には「西+心」の字体が明朝体で印刷されている。現在の字体はもともと行書で書かれてきた字体。【握】草書や行書ではほとんどの字に点が付く。この点は捨て筆、咎なし点、補空などと呼ばれる。正字がみあたらない。平安和様は手偏にも木偏にも見える。手偏と「木偏は異体字として通用する。

【圧(壓)】「圧」は「壓」の略字。楷書と正字に使用例が見つかからない。しばしば「厂」の上に点がつくことがある。また「土」に点がつくことがある。中国常用字は「圧」に点がついた字体。「土」に点がつくのは「土」と間違えなため記号であろう。【扱(扱)】中国での使用例が少なく中国の常用字にも入っていない。「及」は手書きすると三画なのに、康熙字典も漢和辞典でも四画。

手書きの字体を示しているのは文部省活字だけ旁が「及」と四画になっている。「及」は手書きでは書きにくい。【安】「宀」の「点」と女は繋げて書くのが伝統的な書き方。【暗(暗)】もとの字は闇。説文と康熙字典は「音」の一点を横線にし、他はすべて(正字でさえも)点にしている。